

上場会社名 株式会社 gumi 上場取引所 東
 コード番号 3903 URL https://gu3.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川本 寛之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 本吉 誠 (TEL) 03 (5358) 5322
 四半期報告書提出予定日 2022年12月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年4月期第2四半期の連結業績(2022年5月1日~2022年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|--------|---|--------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年4月期第2四半期 | 8,308 | △3.2 | 423 | — | △37 | — | △55 | — |
| 2022年4月期第2四半期 | 8,578 | △12.8 | △1,573 | — | △2,861 | — | △4,359 | — |

(注) 包括利益 2023年4月期第2四半期 379百万円(—%) 2022年4月期第2四半期 △4,253百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年4月期第2四半期 | △1.89 | — |
| 2022年4月期第2四半期 | △148.05 | — |

(注) 1. 2022年4月期第2四半期及び2023年4月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年4月期第2四半期 | 19,818 | 10,492 | 49.4 |
| 2022年4月期 | 18,362 | 10,084 | 50.2 |

(参考) 自己資本 2023年4月期第2四半期 9,788百万円 2022年4月期 9,221百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年4月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年4月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年4月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年4月期の期末配当金につきましては、現在未定です。

3. 2023年4月期の連結業績予想(2022年5月1日~2023年4月30日)

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をしておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年4月期2Q | 31,319,300株 | 2022年4月期 | 31,271,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年4月期2Q | 2,101,066株 | 2022年4月期 | 2,101,039株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年4月期2Q | 29,192,348株 | 2022年4月期2Q | 29,445,230株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 11 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業内容をより適正に表示するため、第1四半期連結会計期間より従来の報告セグメントのうち、「XR事業（VR、AR、MR等）」と「ブロックチェーン事業」を「メタバース事業」として再整理しております。

今後は、「モバイルオンラインゲーム事業」及び「メタバース事業」の2セグメントにおいて、事業基盤の強化及び収益力の向上に取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は8,308,151千円（前年同期比3.2%減）、営業利益は423,293千円（前年同期は1,573,396千円の営業損失）、経常損失は37,265千円（前年は2,861,046千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は55,215千円（前年同期は4,359,314千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントごとの状況は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの見直しを行い、「XR事業（VR、AR、MR等）」と「ブロックチェーン事業」を「メタバース事業」として再整理したため、前年同期比較は報告セグメント見直し後の数値に組み替えて記載しております。

（モバイルオンラインゲーム事業）

売上高に関しては、前連結会計年度に配信を開始した複数タイトルの売上寄与があったものの、その他主力タイトルにおいて配信期間の経過により売上が減少したことに伴い、前年同期比で減収となりました。

営業利益に関しては、開発・運用体制の適正化による人件費及び外注費の減少に加え、複数の受託タイトルを開発ポートフォリオに組み入れる等の様々な取り組みが奏功し、前年同期比で増益となりました。

この結果、売上高は8,081,308千円（前年同期比4.7%減）、営業利益は505,829千円（前年同期は1,586,935千円の営業損失）となりました。

（メタバース事業）

メタバース事業に関しては、当該事業を取り巻く法令及び行政の対応等を踏まえつつ、国内外の有力企業への投資を通じ、早期の収益化を目指しております。

当連結会計年度においては、複数の有力チェーンにおけるノード運営及びブロックチェーンコンテンツの開発・提供にかかる売上寄与等により、前年同期比で増収となりました。

営業利益に関しては、将来の収益基盤の構築を図るべくブロックチェーンゲーム開発への投資を強化したこと等により、前年同期比で減益となりました。

この結果、売上高は226,842千円（前年同期比124.8%増）、営業損失は82,535千円（前年同期は13,538千円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19,818,708千円となり、前連結会計年度末比1,455,999千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加及びソフトウェア仮勘定の増加によるものであります。

負債合計は9,326,094千円となり、前連結会計年度末比1,047,747千円増加いたしました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金含む）及び社債（1年内償還予定の社債含む）の増加によるものであります。

純資産は10,492,614千円となり、前連結会計年度末比408,252千円増加いたしました。なお、自己資本比率は49.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末6,302,742千円に比べ724,536千円増加し、7,027,278千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は162,062千円(前年同期は1,730,251千円の支出)となりました。収入の主な内訳は、暗号資産評価損350,033千円、売上債権及び契約資産の減少額219,184千円及び前払費用の減少額257,927千円、支出の主な内訳は、未収入金の増加額847,281千円及び税金等調整前四半期純損失264,816千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は782,679千円(前年同期は976,189千円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、投資事業組合からの分配による収入537,943千円、支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出801,297千円及びその他の関係会社有価証券の取得による支出407,910千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,227,124千円(前年同期は1,417,107千円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入3,888,000千円及び社債の発行による収入493,710千円、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出3,154,604千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月期につきましては、モバイルオンラインゲーム事業においては、既存タイトルの安定的な運用による収益の創出に加え、ヒットタイトルの開発実績を有するスタジオにおける高品質なオリジナルタイトルの開発、自社ヒットタイトルのゲームエンジンと他社有力IPを掛け合わせた新規タイトルの開発、自社ゲームエンジンのライセンスアウト、開発受託等、バランスの良いポートフォリオを構築することで、将来における収益力の更なる拡大を目指しております。

メタバース事業においては、特にブロックチェーン領域において、コンテンツ開発、ファンド出資、ノード運営の3つの領域に積極的に経営資源を投下することで、収益の主軸として成長させてまいります。

なお、モバイルオンラインゲーム事業及びメタバース事業を取り巻く事業環境の変化が激しく、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難であることから、2021年4月期より業績予想を非開示とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年4月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,302,742 | 7,027,278 |
| 売掛金及び契約資産 | 1,852,967 | 1,657,770 |
| その他 | 1,856,398 | 1,869,268 |
| 流動資産合計 | 10,012,108 | 10,554,317 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 128,663 | 157,092 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 359,920 | 240,515 |
| ソフトウェア仮勘定 | 2,548,821 | 3,346,326 |
| その他 | 25,051 | 650 |
| 無形固定資産合計 | 2,933,793 | 3,587,491 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,687,546 | 1,569,814 |
| その他の関係会社有価証券 | 2,340,035 | 2,649,673 |
| その他 | 1,260,562 | 1,300,319 |
| 投資その他の資産合計 | 5,288,143 | 5,519,807 |
| 固定資産合計 | 8,350,600 | 9,264,391 |
| 資産合計 | 18,362,709 | 19,818,708 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年4月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年10月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 393,015 | 350,272 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 160,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,049,208 | 2,293,349 |
| 資産除去債務 | 53,156 | 59,409 |
| 未払法人税等 | 442,151 | 187,853 |
| 賞与引当金 | 106,754 | 71,563 |
| その他 | 1,698,293 | 1,907,650 |
| 流動負債合計 | 5,742,578 | 5,030,099 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 340,000 |
| 長期借入金 | 2,368,124 | 3,869,378 |
| 資産除去債務 | 64,763 | 68,992 |
| その他 | 102,880 | 17,623 |
| 固定負債合計 | 2,535,767 | 4,295,994 |
| 負債合計 | 8,278,346 | 9,326,094 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 9,417,653 | 9,442,588 |
| 資本剰余金 | 3,425,432 | 3,450,367 |
| 利益剰余金 | △2,218,164 | △2,273,379 |
| 自己株式 | △2,058,370 | △2,058,399 |
| 株主資本合計 | 8,566,551 | 8,561,176 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 71,151 | 88,281 |
| 為替換算調整勘定 | 583,300 | 1,139,422 |
| その他の包括利益累計額合計 | 654,451 | 1,227,703 |
| 新株予約権 | 385,108 | 363,838 |
| 非支配株主持分 | 478,251 | 339,895 |
| 純資産合計 | 10,084,362 | 10,492,614 |
| 負債純資産合計 | 18,362,709 | 19,818,708 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 8,578,797 | 8,308,151 |
| 売上原価 | 8,239,819 | 6,306,210 |
| 売上総利益 | 338,977 | 2,001,941 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,912,374 | 1,578,647 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △1,573,396 | 423,293 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 4,492 | 352 |
| 補助金収入 | 1,107 | 73 |
| 暗号資産売却益 | 22,201 | — |
| 消費税等免除益 | 28,963 | — |
| 持分法による投資利益 | — | 124,416 |
| 投資事業組合運用益 | 16,885 | 25,164 |
| その他 | 7,342 | 4,662 |
| 営業外収益合計 | 80,992 | 154,670 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,924 | 25,825 |
| 為替差損 | 70,464 | 216,283 |
| 暗号資産評価損 | 341,360 | 350,033 |
| 持分法による投資損失 | 938,763 | — |
| その他 | 1,128 | 23,086 |
| 営業外費用合計 | 1,368,642 | 615,229 |
| 経常損失(△) | △2,861,046 | △37,265 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 65 | — |
| 新株予約権戻入益 | — | 2,072 |
| 特別利益合計 | 65 | 2,072 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 1,906,092 | — |
| 投資有価証券評価損 | 773 | 171,623 |
| 関係会社株式評価損 | — | 57,999 |
| 役員退職慰労金 | 150,000 | — |
| 特別損失合計 | 2,056,865 | 229,623 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △4,917,846 | △264,816 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 12,935 | 101,019 |
| 法人税等調整額 | △555,605 | △172,265 |
| 法人税等合計 | △542,669 | △71,246 |
| 四半期純損失(△) | △4,375,176 | △193,570 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △15,862 | △138,355 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △4,359,314 | △55,215 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純損失(△) | △4,375,176 | △193,570 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △18,138 | 17,130 |
| 為替換算調整勘定 | 61,501 | 622,874 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 78,777 | △66,752 |
| その他の包括利益合計 | 122,140 | 573,252 |
| 四半期包括利益 | △4,253,035 | 379,681 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △4,237,173 | 518,036 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △15,862 | △138,355 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △4,917,846 | △264,816 |
| 減価償却費 | 607,641 | 181,906 |
| 減損損失 | 1,906,092 | — |
| 株式報酬費用 | 58,016 | 27,184 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △8,465 | △38,795 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,492 | △352 |
| 支払利息 | 16,924 | 25,825 |
| 為替差損益(△は益) | 52,116 | 137,162 |
| 補助金収入 | △1,107 | △73 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 938,763 | △124,416 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | △16,885 | △25,164 |
| 暗号資産評価損益(△は益) | 341,360 | 350,033 |
| 暗号資産売却損益(△は益) | △22,201 | — |
| 関係会社株式評価損 | — | 57,999 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △65 | — |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 773 | 171,623 |
| 売上債権及び契約資産の増減額(△は増加) | △493,858 | 219,184 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 14,738 | △45,005 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 129,290 | △132,555 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △36,865 | 196,636 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 104,105 | △847,281 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | 166,528 | 257,927 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | 53,574 | 90,090 |
| その他 | 68,657 | 74,852 |
| 小計 | △1,043,204 | 311,964 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,492 | 352 |
| 利息の支払額 | △13,733 | △26,460 |
| 補助金の受取額 | 1,107 | 73 |
| 事業構造改革費用の支払額 | △4,419 | — |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △674,494 | △123,867 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,730,251 | 162,062 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 2 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △16,844 | △61,306 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △928,589 | △801,297 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 3,815 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △49,900 | △5,198 |
| その他の関係会社有価証券の取得による支出 | — | △407,910 |
| 暗号資産の取得による支出 | — | △25,000 |
| 暗号資産の売却による収入 | 948,491 | — |
| 投資事業組合からの分配による収入 | 929,682 | 537,943 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △2,583 | △20,223 |
| 敷金及び保証金の返還による収入 | 92,117 | 310 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 976,189 | △782,679 |

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 8,400,000 | 3,888,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △5,833,202 | △3,154,604 |
| 社債の発行による収入 | — | 493,710 |
| 株式の発行による収入 | 36 | 47 |
| 自己株式の取得による支出 | △999,932 | △29 |
| 配当金の支払額 | △149,795 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,417,107 | 1,227,124 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 30,901 | 118,029 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 693,947 | 724,536 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,492,510 | 6,302,742 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,186,457 | 7,027,278 |

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年5月1日至2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|------------------------|---------|------------|
| | モバイル オンラインゲーム 事業 | メタバース事業 | |
| 売上高 | | | |
| 国内 | 6,423,276 | 4,038 | 6,427,315 |
| 海外 | 2,054,612 | 96,869 | 2,151,482 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 8,477,889 | 100,907 | 8,578,797 |
| その他の収益 | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 8,477,889 | 100,907 | 8,578,797 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 8,477,889 | 100,907 | 8,578,797 |
| セグメント利益又は損失(△) | △1,586,935 | 13,538 | △1,573,396 |

セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、モバイルオンラインゲーム事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」として記載しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。これにより、従来の方法と比較して、モバイルオンラインゲーム事業では、当第2四半期連結累計期間の売上高は229,226千円減少し、セグメント損失は229,226千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「モバイルオンラインゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,906,092千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年5月1日 至 2022年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|------------------------|---------|-----------|
| | モバイル オンラインゲーム 事業 | メタバース事業 | |
| 売上高 | | | |
| 国内 | 6,799,532 | 201,010 | 7,000,542 |
| 海外 | 1,281,776 | 5,129 | 1,286,905 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 8,081,308 | 206,139 | 8,287,447 |
| その他の収益 | — | 20,703 | 20,703 |
| 外部顧客への売上高 | 8,081,308 | 226,842 | 8,308,151 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 8,081,308 | 226,842 | 8,308,151 |
| セグメント利益又は損失(△) | 505,829 | △82,535 | 423,293 |

セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。また、収益分解情報は「国内」及び「海外」に区分し、モバイルオンラインゲーム事業においては日本語版タイトルの売上高を「国内」、海外言語版タイトルの売上高を「海外」として記載しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

従来、セグメント情報における報告セグメントについては、「モバイルオンラインゲーム事業」「XR事業（VR、AR、MR等）」「ブロックチェーン事業」の3区分としておりましたが、これまで獲得してきた知見を融合し、仮想空間の下に現実世界と同等の経済圏を構築し得るコンテンツ開発を行うべく、これまで別セグメントとして位置付けていた「XR事業（VR、AR、MR等）」と「ブロックチェーン事業」を、「メタバース事業」として再整理することを2022年4月26日開催の取締役会において決定し、第1四半期連結会計期間より「モバイルオンラインゲーム事業」及び「メタバース事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。